

「広島神楽」定期公演へようこそ!

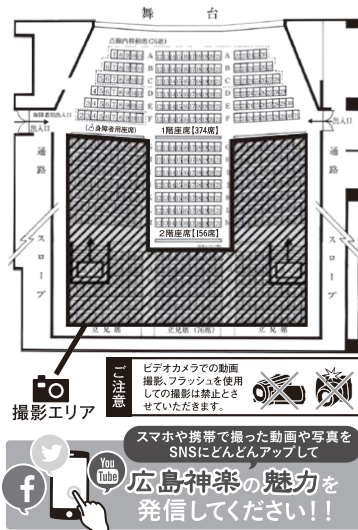
本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。
当公演では、全てのお客様に気持ちよく神楽を鑑賞していただくため、下記のルールを設けています。
ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

- (1) 座席での**飲食は出来ません**。ロビーをご利用下さい。
- (2) 上演中の立ち歩きや大声での私語など**他のお客様のご迷惑になる行為**はご遠慮下さい。
- (3) お子様連れの方は、お子様が舞台の前に出られると、演出等で**危険な場合**がございます。**着席**での鑑賞をお願いします。
- (4) 撮影について
→写真撮影は右図の**撮影エリア**で行って下さい。
※ビデオカメラでの**動画撮影**、**フラッシュの使用は禁止**します。
(マスコミ関係など主催者の許可を得ている場合を除く)

以上です。どうぞ、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

撮影エリアについてのご案内

写真撮影をご希望の方は必ず、下記の撮影エリアでお願いいたします。



6月29日のタイムスケジュール

出演：茂田神楽団（三次市）

19:00～開演

19:05～第一幕『日本武尊』

(およそ40分)

～幕間(休憩)～

20:00～第二幕『葛城山』

(およそ40分)

20:45～記念撮影会

衣装やお面を実際に見ていただき、記念撮影をしていただけます。携帯電話での撮影も大歓迎です。本日の記念には是非ご参加下さい。また、神楽団との交流もしていただけます。疑問に思ったことなど、直接団員にお聞きください。(舞台へは靴を脱いでお上がりください。)

※記載の時間は目安です。多少前後する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

もだかぐらだん

茂田神楽団プロフィール ～三次市君田～

三次市君田町(旧君田村)茂田地区では、おおよそ170年以前、出雲石見地方より神楽を習い伝承してきました。茂田地区では古くから砂鉄採取が盛んに行われ、砂鉄労働者の安全祈願と農家の五穀豊穡を願い奉納されてきました。昭和48年頃には戸数も減り、後継者不足のため、神楽存続が出来なくなり、村内一円で団員を募り「君田村茂田神楽団」と団名を改め、存続して参りました。その後三次市との合併により、「茂田神楽団」として団員一同心を新たにがんばっております。

また、一昨年、県知事より広島県地域文化功労者賞の受賞にあずかり、心より名誉に思っております。これからも地域文化発展のため、がんばって参りたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

第一幕『日本武尊』(やまとたけるのみこと)

人皇十二代・景行(けいこう)天皇の御代、九州・筑紫に大きな勢力を持ち、大和朝廷に背き、万民を苦しめていた熊襲(くまそ)の頭・川上猛(かわかみたける)を征伐するため、第二の皇子・小碓命(おうすのみこと)は女装して川上猛に近づき、機会を見て討ち取ります。

この時、川上猛は「西国において自分より強い者は居ないと信じていたが、小碓命は日本一の武勇者である。よって今より日本武尊と名乗るように」と言い残し絶命するという物語です。

※都合により演目の順番を入れ替えております。
あらかじめご了承ください。

【出演】	大太鼓 … 久山 浩則	小碓命 … 角先 由介	竹内大臣 … 小滝 達也
	小太鼓 … 宮本 正和	川上猛 … 正光 白	弟彦 … 谷口 裕則
	手打鉦 … 佐々木 雅美	手下・匪の竹 … 小前 晋一朗	侍女 … 田中 孝司
	笛 … 浅井 千秋	手下・坂の竹 … 土井 直人	侍女 … 茶木 篤紀

第二幕『葛城山』(かつらぎざん)

大和の国を一望する葛城山に棲み付き、天下を攪乱(かくらん)しようとする土蜘蛛の精魂が、都の守・源頼光(みなもとのらいこう)へ忍び寄ります。

時に頼光は病に伏し、頼光の美しい侍女・胡蝶(こちょう)が典薬(てんやく)の守から薬を持ち帰るところを、土蜘蛛の精魂は襲います。そして、胡蝶になりすますと、頼光に毒薬を薬と偽って飲ませます。

しかし、頼光に正体を見破られ、伝家の宝刀「膝丸(ひざまる)」で一太刀浴びた土蜘蛛の精魂は葛城山へと逃げ帰ります。

頼光は、我が身を救った宝刀「膝丸」を「蜘蛛切丸(くもきりまる)」と改め、四天王にこの刀を授け土蜘蛛退治を命じます。四天王は、葛城山へ向かい精魂の妖術に立ち向かい、壮絶な戦いの果てに成敗するという物語です。

【出演】	大太鼓 … 小前 晋一朗	源頼光 … 小滝 達也	胡蝶 … 増原 英伸
	小太鼓 … 正光 白	卜部季武 … 谷口 裕則	土蜘蛛 … 久山 浩則
	手打鉦 … 田中 孝司	坂田金時 … 茶木 篤紀	
	笛 … 前田 奈穂		

※出演者は予告無く変更になる場合がございます。